

# 令和7年度 第67回 建築士会全国大会 おおさか大会報告書

## 「建築からソーシャルデザインへ」

### 0. 概要

日程：令和7年9月19日（金）  
会場：グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）  
参加：全体 3000名 兵庫士会より、参加 66名  
18日（木）連合会会議・ヘリテージ・建築士フォーラム全国大会  
20日（土）21日（日）エクスカーショ

### 1. はじめに

第67回建築士会全国大会おおさか大会が1970年の大阪万博に合わせた開催以降55年ぶりに大阪（グランキューブ大阪）で開催されました。大会参加者は3000名を超え、大懇親会も1200名程度と大変盛大に開催されました。

### 2. 大会式典

「天神祭」のお囃子と踊りに続き、開催地会長（公社）大阪府建築士会会長岡本森廣より歓迎のことば、主催者（公社）日本建築士会連合会会長古谷誠章様より挨拶、来賓祝辞につづき表彰がり連合会会長表彰式があり、兵庫からは連合会表彰を 楨本光展様・古谷学様が、伝統技能者表彰を畑勝憲様が受賞されました。



### 3. 基調講演

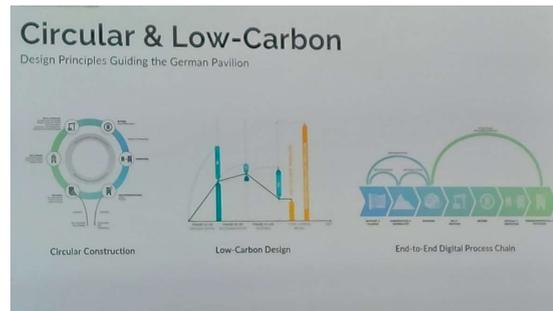
大阪関西万博でドイツパビリオン・クエートパビリオンのコンセプトデザインを担当されたクリスチャン・サンダー・チャージツヒ氏により『循環経済と未来建築』をテーマに講演が行われました。チャージツヒ氏はドイツのベルリンを拠点とし世界に展開する LABORATORY FOR VISIONARY ARCHITECTURE [LAVA]のアソシエートパートナー。



建築は単なる建物ではなく、社会や文化、環境の象徴である社会のインフラである。世界的プロジェクトを通して持続可能で人々に暮らしや交流を深める体験を与える空間を創造していくことが求められている。過去・現在・未来を見据えて検討されるべきものであり、サステナビリティの実現にとどまらず、自然環境の活性化にも取り組んでいるデザインコンセプトについてCG動画を用いてお話し戴きました。

## 1. 事務所[LAVA]の国際展開について

- 世界中で約 140 名が所属し、ドイツだけでも 80 名以上のスタッフ（ドイツ人は数 10%）が活動。
- 欧州を中心に国際的にプロジェクトを手掛け、多様な課題や文化背景に対応している。
- 環境・気候変動・再生可能デザインを重視し、自然素材や地域性を生かすアプローチを実践。



## 2. 建築の社会的・歴史的役割

- 建築は時代を象徴する存在であり、歴史に影響を与えると同時に歴史から影響を受ける。
- 1970 年大阪万博の建築が「テクノロジーによる未来像」を体現していたように、現在は自然や持続可能性が新たなテーマになっている。
- 建物は単なる空間提供以上に、社会や人々の体験、記憶、象徴性を担うべき存在。

## 3. プロジェクトと技術活用

- デジタルツールを用い、設計から施工・運用まで一貫した情報管理（BIM 等）を活用。
- 再利用可能な構造材やモジュール化を通じ、建物のリユース・解体後の資源循環を目指している。
- 実際に失敗例もあり、数値が逆転して環境負荷が増す場合もあるため、データに基づく検証と改善が不可欠。

## 4. 具体事例（パビリオン）

- ドイツ館：
  - ◇ 外と内をつなぐ設計が特徴。
  - レストランやVIP ラウンジなど複数の機能を持ち、自然との一体感を重視。
  - 構造材はリユース可能で、解体・再利用を前提に設計されている。
- クエート館：
  - 国そのものを知ってもらうことから始まる展示。
  - 建築を通して文化的アイデンティティを体現する役割を持つ。
  - 砂漠の民にとって重要な水面のイメージテーマとした。



## 5. 建築の未来への視点

- 今後の建築は「社会にどのように貢献するか」が鍵。
- 機能を満たすだけでなく、人々に印象的な体験を与え、象徴性を持つ必要がある。
- Expo のような国際舞台は、その時代の社会や技術、自然観を翻訳し表現する重要な機会。



## 4. 大懇親会

リーガロイヤルホテル大阪 光琳の間で開催された大懇親会には約 1200 人が参加しました。大阪天萬宮の神楽が奉納された後、活発な交流が行われました。



## 5. 分科会

大会午前中には、分科会およびが行われました。参加者はそれぞれ分科会に参加しました。兵庫士会も朝8時に集合し、分科会の受付を担当しました。

- 青年委員会セッション（地域実践活動発表会）
- 女性委員会セッション：「おもいきりバージョンアップ Part3」
  - 誰もが参加したい 未来の「威力ある建築士会」とは について約60名が8班（ジェンダー・学生・シニア世代・働きざかり世代・若い世代・情報発信について・建築士の社会的認知向上）に分かれグループワークと全体発表を行いました。
- 福祉まちづくりセッション：「ユニバーサルなまちづくりをめざして」
- 環境部会セッション：「都市の建築ストックを活かし災害に強い街をつくるには」
- 木のまちづくりセッション：
  - 「近畿地方における川上・川中・川下の連携をまなぶ木造建築の現状」
- 景観のまちづくりセッション：「地域資源としての長屋・街やの再生と景観まちづくり」
- 歴史まちづくりセッション第12回ヘリテージマネージャー大会：
  - 「歴史のなかの多様な特徴的地域づくり」
- 街中（空き家）まちづくりセッション：「ソーシャルデザインによる空き家利活用」
- 防災まちづくりセッション：「多様化する自然災害と南海トラフ巨大地震への備え」



## 6. 大阪・関西万博とエクスカージョン 20日（土）21日（日）

- 大阪・関西万博
- 川から見るおおさか(クルーズ)
- 地域交流見学会 大大阪時代の中之島と仙波の近代建築めぐり

## 7. ロビー展示

女性委員長山本和代様が令和7年度全建女山形大会にて発表された、被災地報告「阪神淡路大震災から30年 建築士会活動と建築士として」の資料がロビーにて上映されました。

## 8. まとめ

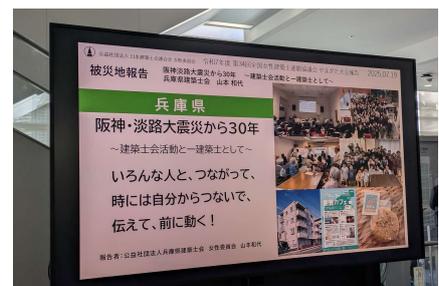
大会を通じて、建築を設計・建設することだけでなく社会・時代・未来が求める役割と責務について、会員が参加して楽しい会のあり方を確認することができました。

## 9. 来年度 第68回建築士会全国大会ぐんま大会

2026年10月16日（金）式典会場：高崎芸術劇場  
大会テーマ「絹の国 建築つむぎ 未来にはばたけ」

## 10. 参考

[第67回 建築士会全国大会「おおさか大会」 | 公益社団法人 日本建築士会連合会](#)



報告：尾ノ井、有賀